

# IZUMIOTSU ROTARY CLUB

泉大津ロータリー  
クラブ週報

第2953回

Weekly Bulletin Vol. 62 No. 7

2017-2018 RI会長 イアン・ライズリー



泉大津ロータリークラブ（創立 1956.5.4）

会長：八木 昌彦 副会長：釜野 典子  
幹事：高寺 壽 S A A：根尾 玲子

事務局：〒595-0062 泉大津市田中町 10-7  
泉大津商工会議所 3 F  
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
e-mail izumiotsu-rc@ioctv.zaq.ne.jp

例会場：ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL.0725-20-1121

例会日時：毎週金曜日 12：30 ～ 13：30

ロータリー：変化をもたらす

## 今週の例会（2017 年 8 月 25 日）

### プログラム

納涼例会

### 次週のプログラム

#### 9 月 1 日のプログラム

クラブフォーラム（新世代奉仕）

### 祝 誕生日

杉本 憲一（31 日）

### 今月のロータリーソング

四つのテスト

### 先週の例会

#### 会長の時間 八木 昌彦 会長

本日はガバナー公式訪問の日です。先ほど 11 時半より、ガバナー、同補佐、当方会長、幹事の 4 人で、当クラブの各種資料を紐解き今後の方向性の確認を行いました。お陰様でガバナーから特別に問題を指摘されることもありませんでした。

お手元の月信 No.2 に「ロータリーの原点とは」とあります。事前にもらっていた同月信をまとめました。今からお話します。一緒に思慮ください。

ロータリーの友 8 月号に会員増強のページがあります。なんと平成 10 年 42 人の会員を平成 16 年に 113 人に増やしたという。真似できませんか。

### 今後の予定

- ・9 月 8 日：卓話担当 山本 正邦 会員
- ・9 月 15 日：卓話担当 榎本 善夫 会員
- ・9 月 22 日：卓話担当 深井 喜一 会員
- ・9 月 29 日：卓話担当 藤原 重行 会員

### 今月の歌

海

海はひろいな 大きいな  
月がのぼるし 日がしずむ  
海にお船を 浮かばして  
行ってみたいな よその国

### 幹事報告

高寺 壽 幹事

- 来週は 19:00～ホテルきららリゾート閑空で納涼例会です
- 会員候補被推薦者氏名（西野寿繁さん）異議のある場合は理由を書いて幹事までご提出下さい
- ガバナーの卓話で使用する「ロータリーにおける地区の基本的構造と各個の役割」のプリント
- 11月4日（土）・5日（日）地区大会の御案内のリーフレット
- 10月30日（月）地区大会記念ゴルフ大会のリーフレット
- 9月7日（木）泉大津商工会議所創立70周年記念特別講演会のご案内  
講師：ジャパネットたかた 創業者 高田 明氏

### 委員会報告

- 例会終了後、例会プログラム委員会を開催します（例会プログラム委員会）

# IZUMIOTSU ROTARY CLUB

第2953回

### ビジター

ガバナー 岡本 浩 様（和歌山城南 RC）  
ガバナー補佐 竜 和夫 様（大阪金剛 RC）

### 出席報告

会員数 39 名 出席免除 0 名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
8/18	36 名	3 名	—	92.31%
7/28	37 名	2 名	1 名	97.44%

### メイクアップ

榎本（7/28 大阪心斎橋 RC）

### ニコニコ箱

- ・公式訪問ありがとうございます（八木（昌））
- ・岡本ガバナー、竜ガバナー補佐様、本日よりしくお願い致します（高寺）
- ・岡本ガバナー様、ようこそお越し下さいました。本日よりしくお願い致します（根尾）
- ・岡本ガバナー、お暑い中ようこそ御越し下さいまして有難うございます（釜野（典））
- ・嬉しいことが有りました（八木（秀））

ニコニコ箱合計	22,000 円
累計	120,000 円

### 先週のプログラム

#### 「公式訪問ガバナー卓話」 ガバナー 岡本 浩 様

こんにちは。2017-2018 年度ガバナーの岡本浩です。本日は公式訪問の機会を設定いただき、ありがとうございます。

さて、今年度ガバナーとして何を指すかについて、述べさせていただきます。

先ず、今年の RI 会長テーマは、「変化をもたらす」です。これは、ロータリーの活動により、社会への良い変化をもたらす活動を追求しようということと解されます。また、そのような活動により、ロータリー自体も変化をする、さらにはロータリーの会員自身にも良い変化をもたらそうということだと解されます。

次に、当地区の指針は、「ロータリーの原点を再確認し、2640 地区の新たな飛躍を」とさせていただきます。これは、ロータリーとは何かをしっかりと再確認し、その基盤の上に地区をしっかりと構成し、さらに飛躍を目指そうということです。そのためには、月信第 1 号に「地区の基本的構造と各個の役割」として図示したような地区の有り方を追求することが大切です。そして、この図の中では、月信を地区・ガバナーと会員を結ぶ血管・血流と捉えていますが、紙媒体で配布される月信を地区情報を会員に伝える手段として重視していきたいと考えています。

それでは、このような地区組織の上に立って、目指すべきロータリー、言い換えればロータリーの原点とは何かについてを述べてみます。

それは、4 つのテストに示される倫理・行動基準に則った職業奉仕の理念を追求する職業人の集まりがロータリークラブであり、そのような個人々々が例会に集うことで互いに刺激し合い学び合う場である例会を会員に提供することこそ、ロータリーの原点だということだと思います。したがって、ロータリーは、大人の学校と言えます。そして、学校であるロータリーへ皆が集うには、ロータリーは楽しく友情が育つ場である必要があります。

なお、職業奉仕とは何かを一言で言うなら、個人々人の職域において、4 つのテストに示される倫理を貫いた職業活動を行ない、その職業領域において、一番に尊敬される職業人を目指すということだと思います。例会を通じての互いの人格的成長・向上と、職業を超えての友情と信頼の形成こそ、ロータリーの真髄と言えます。

何か一つ、どこか一つ、参加した会員の記憶に残るような充実した例会になるよう努力し、その積み重ねにより会員の向上を図っていくようなロータリー活動を作っていきます。

